

Nikon

ワイヤレスリモートコントローラー

WR-1

.....
使用説明書



Jp

ワイヤレスリモートコントローラー WR-1 をお買い上げくださいます、誠にありがとうございます。ご使用前に、本書およびカメラの使用説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

本文中の記号について

使用説明書は、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。



カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。



カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。



使用説明書上で関連情報が記載されているページです。

表記について

- ご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。
- WR-1 の設定が初期設定であることを前提に操作の説明を行っています。
- マルチセクターの上、下、左、右を、▲、▼、◀、▶ と表記しています。

使用しているカメラのイラストについて

使用説明書では、D800(10 ピンターミナルを装備したカメラ)と D7100(アクセサリターミナルを装備したカメラ) のイラストを使用しています。

お使いになる前に、WR-1 と付属品が全てそろっていることを確認してください。

ワイヤレスリモートコントローラー WR-1

使用説明書（本書）

保証書

ソフトケース

10 ピンターミナル用ケーブル MC-37

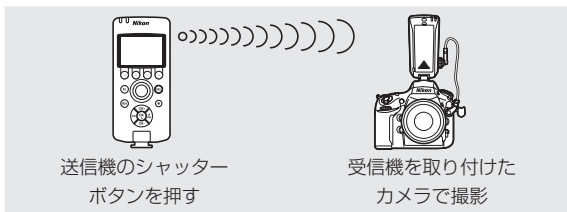
アクセサリターミナル用ケーブル MC-38

※単 3 形電池は付属していません。

WR-1 の主な機能

基本的な使い方

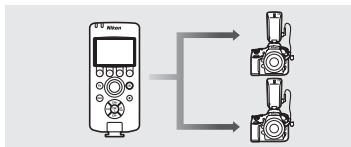
送信機に設定した WR-1 のシャッターボタンを押すと、受信機に設定した WR-1 を装着したカメラのシャッターがきれます。



応用的な使い方

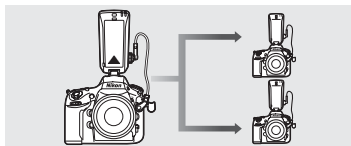
同時リリース

複数のカメラのシャッターを同時に起動することができます (□12)。



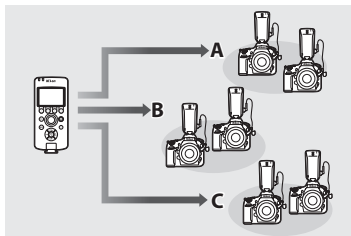
連動リリース

マスターカメラとリモートカメラのシャッターリリースを連動させることができます (□13)。



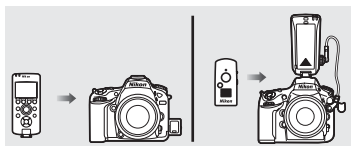
グループを使い分ける

カメラをグループに分けて、グループごとに遠隔操作できます (□14)。



WR-R10/WR-T10 と使う

WR-1 と組み合わせて、WR-R10 を受信機、WR-T10 を送信機として使うことができます (□15)。



電波に関するご注意




- 1 本製品は電波法に基づく認証および技術基準適合認定を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- 2 本製品はご購入された国の電波に関する法律に準拠しており、本製品の無線機能はご購入された国以外ではご使用になれませんのでご注意ください。ご購入国以外でのご使用については、当社では一切の責任を負いかねます。ご購入された国が不明確で判断ができないときはお近くのサービス機関またはカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- 3 磁気、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。通信が不安定になることがあります。特に、近くで電子レンジを使用している場合には影響を受ける可能性があります。
※2.4GHz 付近の電波を使用している機器の近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。
- 4 本製品は、技術基準適合認定を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - ・本製品を分解 / 改造すること
 - ・本製品に印刷してある証明ラベルをはがすこと
- 5 本製品の使用する周波数帯は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯です。
 - ・産業・科学・医療用機器
 - ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - 1 構内無線局（免許を要する無線局）
 - 2 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
 - ・アマチュア無線局（免許を要する無線局）
- 6 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
 - ・本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - ・万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用チャンネルを変更して、電波干渉をしないようにしてください。
 - ・その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

安全上のご注意




ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくご使用になり、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は、次のようになっています。

	危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。



警告 (ワイヤレスリモートコントローラーについて)



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないこと



すぐに修理依頼を

感電したり、破損部でケガをする原因となります。



すぐに修理依頼を

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかにカメラや本製品の電源を切り、本製品が冷めたことを確認してから電池を取り外すこと

ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと
発火したり感電の原因となります。



使用禁止

引火・爆発のおそれのある場所では使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。



保管注意

本製品を幼児の手の届くところに置かない

幼児の飲み込みの原因となります。

万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。



注意 (ワイヤレスリモートコントローラーについて)



感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。



使用注意

製品の電源が ON の状態で、長時間直接触れないこと

使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。



使用注意

航空機内に持ち込む時は、電源を OFF にすること

病院で使うときは病院の指示に従うこと

本製品が出す電磁波や無線電波などにより、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。(無線 LAN システムが装備されている航空機では、離着陸時を除き無線機能を利用できる場合があります。詳しくは航空会社にお問い合わせください。)



禁止

本製品は布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

注意 (ワイヤレスリモートコントローラーについて)



放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと
内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。



禁止

長期間使用しないときは電源 (電池やカメラ用接続ケーブル) を外すこと
電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。



電池を取る

危険 (アルカリ電池について)



危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること
そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

警告 (アルカリ電池について)



警告

外装チューブをはがしたり、傷を付けないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



分解禁止

電池を分解しない
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池に表示された警告・注意を守ること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

使用説明書に表示された電池を使用すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



禁止

新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



保管注意

電池は幼児の手の届くところに置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合はただちに医師にご相談ください。



警告

電池の「+」と「-」の向きを間違えないようにすること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。



禁止

充電電池以外は充電しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告 (アルカリ電池について)



電池を取る

使い切った電池はすぐに器具から取り出すこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池を廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁すること
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。



警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因になります。

危険 (ニッケル水素充電電池について)



危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること
そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。



禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



分解禁止

電池を分解しない
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



禁止

新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池の「+」と「-」の向きを間違えないようにすること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

専用の充電器を使用して2本セットで同時に充電すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因になります。
持ち運ぶときは、ポリ袋に入れるなどして絶縁してください。

警告 (ニッケル水素充電電池について)



警告

外装チューブをはがしたり、キズをつけないこと
また、外装チューブをはがれたり、キズがついている電池は絶対に使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因になります。



警告

電池に表示された警告、注意を守ること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告 (ニッケル水素充電電池について)



警告

使用説明書に表示された電池を使用すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



保管注意

電池は幼児の手の届くところに置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。



水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。



使用禁止

変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁する
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
ニコンサービス機関やリサイクル協力店へご持参くださるか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。



警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因になります。

注意 (ニッケル水素充電電池について)



注意

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない
液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。

ご確認ください

- 本製品を安心してお使いいただくために
本製品は、当社製のカメラに適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでご利用ください。
 - ・他社製品や模倣品と組み合わせると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 大切な撮影の前には試し撮りを
大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。
- 保証書について
この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡することになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないこととなります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。
- 使用説明書について
 - ・この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
 - ・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
 - ・使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
 - ・使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、ニコンサービス機関にて新しい使用説明書をお求めください（有料）。
- 著作権についてのご注意
あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。
- 本製品は、米国輸出規制（EAR）を含む米国法の対象であり、米国政府指定の輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア）への輸出や持ち出しには、米国政府の許可が必要になりますので、ご注意ください。なお、輸出規制国は変更されている可能性がありますので、詳しくは米国商務省へお問い合わせください。

目次

WR-1 の主な機能.....	i
電波に関するご注意.....	ii
安全上のご注意.....	iii
ご確認ください.....	viii
はじめに	1
各部の名称.....	1
表示パネル.....	2
電池を入れる	4
WR-1 をカメラに取り付ける	6
基本的な使い方	8
ステップ 1 : WR-1 を送信機と受信機に設定する.....	8
ステップ 2 : 送信機と受信機を同じチャンネルに設定する.....	8
ステップ 3 : 送信機と受信機をペアリングして接続する.....	9
ステップ 4 : 送信機と受信機を同じグループに設定する.....	10
ステップ 5 : 送信機のシャッターボタンを押して撮影する.....	10
応用的な使い方	12
複数のカメラのシャッターをきる (同時リリース).....	12
マスターカメラとリモートカメラのシャッターを連動させる (連動リリース).....	13
グループを使い分ける.....	14
WR-R10/WR-T10 と使う.....	15

メニューの使い方	16
メニューモードの操作方法	17
SPECIAL メニュー	18
インターバルタイマー撮影	18
リリースホールドタイム	20
リレー（中継）機能	21
ディレー撮影	22
ID モードで接続する	23
カメラ設定の確認と変更（D7100 の場合のみ）	24
トラブルシューティング	26
主な仕様	28
アフターサービスについて	31

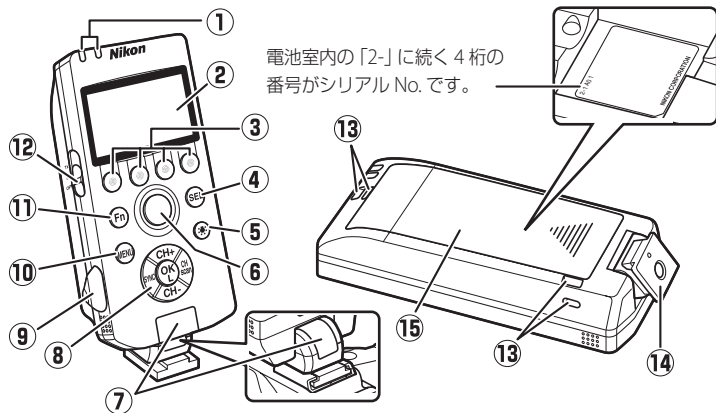
カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

<http://www.nikon-image.com/support/>

はじめに

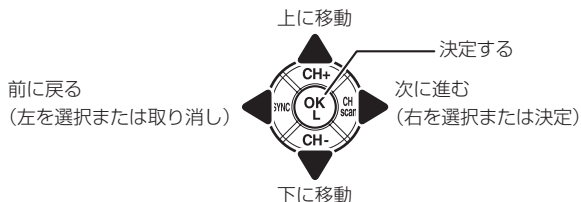
各部の名称



電池室内の「2-」に続く4桁の
番号がシリアルNo.です。

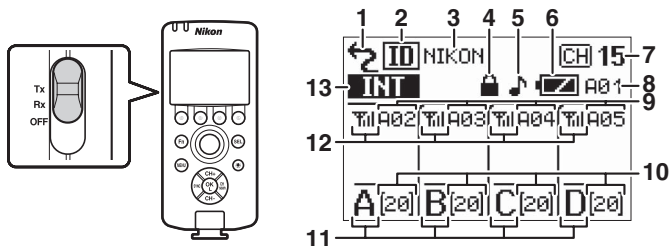
1 LED ランプ (赤 / 緑).....	9	9 10 ピンターミナルカバー.....	6
2 表示パネル.....	2	10 ピンターミナル.....	6
3 グループ選択ボタン (A、B、C、D)	10	10 MENU メニューボタン.....	16
4 SEL 機器選択ボタン.....	11、24	11 Fn ファンクションボタン.....	11
5 イルミネーターボタン.....	3	12 Tx/Rx/OFF 切り換えスイッチ.....	8
6 シャッターボタン.....	10	13 ストラップ取り付け部.....	
7 取り外しボタン.....	7	14 取り付け脚.....	7
8 マルチセレクター.....	1	15 電池室カバー.....	4

☑ マルチセレクターの操作について

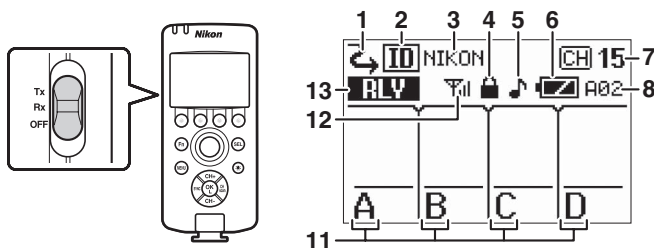


表示パネル

説明のため、全ての表示を点灯させています。



Tx/Rx/OFF 切り換えスイッチを [TX] にした場合 (送信機)




Tx/Rx/OFF 切り換えスイッチを [RX] にした場合 (受信機)





	内容	📖
1	Tx/Rx/OFF 切り換えスイッチが [Tx] のときは が表示されます。 [Rx] のときは アイコンが表示されます。	8
2	他の WR-1 とペアリングモードで接続するか (PAIRING)、ID モードで接続するか (ID) を表示します。	9、 23
3	設定した ID ネームを表示します。ペアリングモードでは表示されません。	23
4	ボタンやマルチセレクターがロックされ、操作できないことを示します。	3
5	電子音が鳴るように設定されていることを示します。	16
6	使用中の電池の残量を表示します。ただし、WR-1 をカメラに取り付けている場合は、電池残量は表示されません。	5
7	設定しているチャンネルを表示します。	8
8	シリアル No. の下 3 桁を表示します。ボディー No. を設定しているときはボディー No. (#01 ~ #20) を表示します。	1、 23

	内容	📖
9	各グループに設定されている受信機のうち、1 台のシリアル No. の下 3 桁 (ボディ No. を設定しているときはボディ No.) を表示します。	25
10	各グループに設定されている受信機の台数 (最大 20) が表示されます。	14
11	通信可能なグループ (A、B、C、D) を表示します。	10
12	電波の状態がアイコンで表示されます。	—
13	送信機を使って設定できる特殊機能を表示します。 INT : インターバルタイマー撮影	18
	RHT : レリーズホールドタイム	20
	連動レリーズモードがオンのときに [SYNC] と表示します。	13
	受信機を使って設定できる特殊機能を表示します。 RLY : リレー (中継) 機能	21
	DLY : ディレイ撮影	22

ボタンを操作する

 ボタンを押すと、表示パネルのイルミネーター (照明) とボタン照明が点灯して、暗いところで操作がしやすくなります。操作を行わないまま約 20 秒が経過すると、ボタン照明が暗くなります。

ボタンやマルチセレクターをロックする

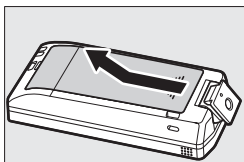
 ボタンを押し続けると、グループ選択ボタン、**SEL** ボタン、**MENU** ボタン、マルチセレクターの操作がロックされ、WR-1 を持ち運ぶときなどに誤って操作されるのを防ぎます (表示パネルに  が表示されます)。ロックを解除するには、 が消えるまで  ボタンを押し続けてください。

電池を入れる

WR-1 は、市販のアルカリ単 3 形電池またはニッケル水素単 3 形充電電池を 2 本使用します。

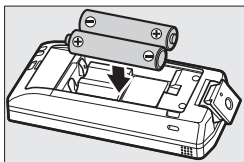
1 電池室カバーを開ける

- 電池室カバーをスライドさせて開きます。

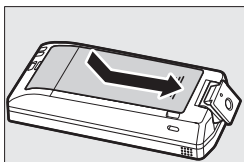


2 電池を入れる

- 単 3 形電池 2 本を電池室内の表示に合わせ、
+と-の向きに注意しながら装着します。



3 電池室カバーを閉める



❑ WR-1 をカメラに取り付けて使うとき

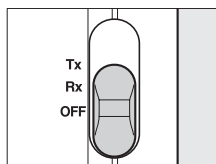
WR-1 をカメラに取り付けて使うとき (□6) は、電源はカメラから供給されます。WR-1 に電池を入れる必要はありません。

❑ WR-1 の節電機能について




- WR-1 を送信機として使う場合、メニューで **[STBY ⏻]** を選ぶと、電池の消耗を抑えるために、送信機を最後に操作してから、表示パネルが消灯して待機状態になるまでの時間を設定できます (□16)。
- WR-1 をカメラに装着しているときは、カメラの電源を OFF にすると WR-1 の電源も OFF になります。

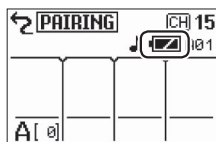
❑ WR-1 を受信機として使う場合のご注意

受信機がカメラに装着されていない場合、電池の消耗を抑えるために、使用しないときは **Tx/Rx/OFF** 切り替えスイッチを OFF にしてください。



❑ 電池残量表示について

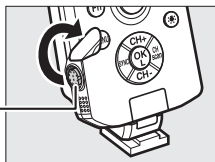
- 残量の充分にある電池をお使いください。
- 電池残量は、表示パネルに次のように表示されます (WR-1 をカメラに取り付けている場合は、表示されません)。
 - : 残量は充分に残っています。
 - : 残量は残りわずかです。予備の電池を準備してください。
 - : 残量がありません。電池を交換してください。
- アルカリ単 3 形電池を使用する場合はメニューの **[BATTERY]** で **[LR6]** を、ニッケル水素単 3 形充電電池を使用する場合は **[HR6]** を選んでください (□17)。



WR-1 をカメラに取り付ける

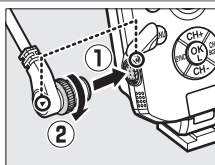
1 WR-1 の 10 ピンターミナルカバーを開ける

10 ピンターミナル



2 付属のケーブルを WR-1 の 10 ピンターミナルに接続する

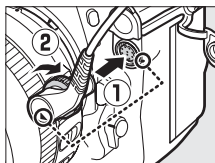
- 10 ピンターミナルを装備したカメラに接続する場合は、10 ピンターミナル用ケーブル MC-37 を使います。アクセサリターミナルを装備したカメラに接続する場合はアクセサリターミナル用ケーブル MC-38 を使います。
- WR-1 の 10 ピンターミナルの指標 (白点 ○) とケーブルの 10 ピンプラグの指標 (▲) を合わせて 10 ピンプラグを差し込み、プラグ先端部のねじを締めてロックします。



3 付属ケーブルをカメラに接続する

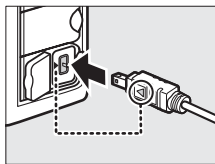
- 10 ピンターミナルを装備したカメラに接続する場合

右図のようにカメラの 10 ピンターミナルの指標 (白点 ○) と 10 ピンターミナル用ケーブル MC-37 の 10 ピンプラグの指標 (▲) を合わせて 10 ピンプラグを差し込み、プラグ先端部のねじを締めてロックします。



- アクセサリターミナルを装備したカメラに接続する場合

右図のようにカメラのアクセサリターミナルの指標 (▲) とアクセサリターミナル用ケーブル MC-38 のコネクターの指標 (▲) を合わせて、コネクターをアクセサリターミナルに差し込みます。

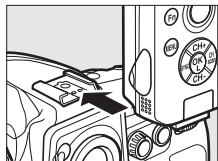


☑ WR-1 を固定する

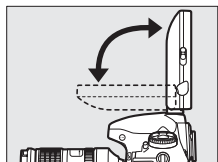
WR-1 は、カメラのアクセサリースューや三脚に取り付けて固定できます。また、別売のブラケット SK-7 を使用すると、カメラと WR-1 を水平に並べて固定でき、別売スピードライトなどをアクセサリースューに取り付けて撮影したり、内蔵フラッシュを使って撮影するとき便利です。

アクセサリースューに取り付ける場合

アクセサリースューへは右図のように取り付けてください。



WR-1 をアクセサリースューに取り付けた場合、使用状況に応じて WR-1 の取り付け角度を調整できます。



アクセサリースューからの取り外し

WR-1 は、**図 1** または **図 2** のようにアクセサリースューから取り外します。

- WR-1 がななめになっているときは取り外せません。

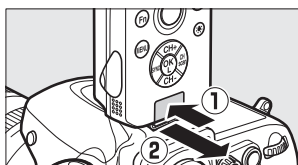


図 1

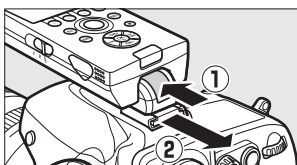


図 2

取り外しボタンを押しながら (①)、矢印の方向に引き抜く (②)

☑ WR-1 をカメラのアクセサリースューに取り付ける場合のご注意

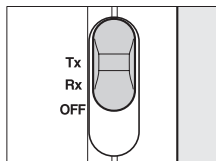
WR-1 をカメラのアクセサリースューに取り付けて使う場合、内蔵フラッシュは使えません。内蔵フラッシュが自動的に上がる撮影モードの場合は、撮影モードを **P**、**S**、**A**、**M** に設定してから内蔵フラッシュを収納した状態にして、内蔵フラッシュが光らないようにしてください。

基本的な使い方

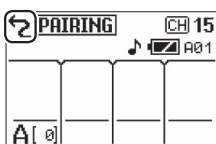
ここでは、2 台の WR-1 をそれぞれ送信機と受信機として使う場合を想定して説明します。

ステップ 1：WR-1 を送信機と受信機に設定する

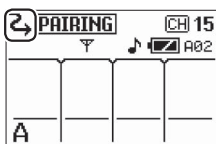
Tx/Rx/OFF 切り換えスイッチで、送信機として使う WR-1 を [Tx]、受信機として使う WR-1 を [Rx] に設定します。



- Tx/Rx/OFF 切り換えスイッチを [Tx] または [Rx] に切り換えると、WR-1 の電源が ON になります。



Tx (送信機)

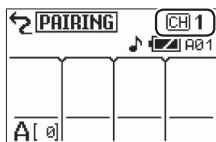


Rx (受信機)

ステップ 2：送信機と受信機を同じチャンネルに設定する

マルチセレクトターの ▲ または ▼ を押して、使用するチャンネルを設定します。


- チャンネルは 1 ～ 15 に設定できます。
- 同時に使う機器には、同じチャンネルを設定してください。



ステップ 3：送信機と受信機をペアリングして接続する


ペアリングは 2 台の機器を近くに寄せて同時に行います。

1 受信機と送信機の [LINK MODE] を [PAIRING] に設定する

- MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
- [LINK MODE] で [PAIRING] を選んで  ボタンを押します。




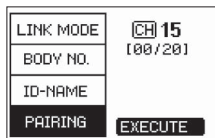
2 受信機と送信機で [PAIRING] を選ぶ

- [PAIRING] を選んで、マルチセレクターの  を押します。

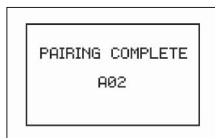


3 受信機と送信機で [EXECUTE] を選ぶ

- [EXECUTE] を選んで、同時に  ボタンを押すと、ペアリングを実行します。



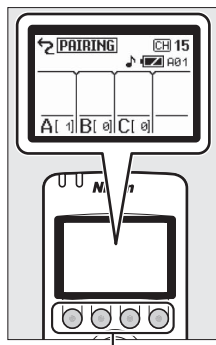
- ペアリングが完了すると、液晶モニターに右のメッセージが表示され、赤と緑の LED ランプが交互に点滅します。
- メニュー画面が表示されたら、MENU ボタンを押してメニューを終了します。



LED ランプ

ステップ 4：送信機と受信機を同じグループに設定する

送信機と受信機は、同じグループに設定する必要があります。各グループの選択ボタンを押すと、グループ名が表示パネルに点灯します。

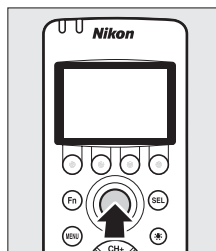


グループ選択ボタン

- グループは複数選べます。たとえば、送信機でグループ「A、B、C」を選んだ場合、A、B、Cのいずれかのグループに設定した受信機を操作できます。

ステップ 5：送信機のシャッターボタンを押して撮影する

WR-1のシャッターボタンは、半押しした場合、最後まで押し込んだ場合、いずれもカメラのシャッターボタンと同様に機能します。カメラのシャッターボタンの機能については、カメラの使用説明書をご覧ください。



チャンネルの利用状況を表示する

マルチセレクターの ▶ ボタンを1秒以上長押しすると、右の画面が表示され、それぞれのチャンネルの利用状況（空き具合）を確認できます。空いているチャンネルを設定することで、パフォーマンスが向上します。

- チャンネルの利用状況は、表示するタイミングごとに変化します。WR-1を複数台使用している場合、それぞれのWR-1で利用状況を確認するタイミングが異なって、かならずしも同じ表示にならないことがあります。





PAIRING				CH 15
1	2	3	4	
5	6	7	8	
9	10	11	12	
13	14	15		

(表示なし)

空いている



ペアリング情報の削除について

メニュー画面の [PAIRING] で [DELETE] を選ぶと、ペアリングした機器のシリアル No. の下3桁が一覧表示されます。機器を選んで  ボタンを押すと、確認画面が表示されます。[YES] を選んで  ボタンを押すと、選んだ機器のペアリング情報が削除されます。

ID モードで接続する

ペアリングを行う代わりに、接続したい全ての機器に同じ ID ネームを設定して、ID モードで接続することもできます。ID モードでの接続方法については、□23 をご覧ください。

Fn ボタンを操作する

送信機の Fn ボタンを使って、受信機を装着したカメラの Fn ボタンを操作できます。

- WR-1 で Fn ボタンを操作できるカメラは、D4、D800/D800E、D7100、D5200 です。WR-1 からの Fn ボタン操作に対応するカメラについての最新情報は、ニコンのホームページをご覧ください。
- Fn ボタンに割り当てられる機能についてはカメラの使用説明書をご覧ください。

操作する受信機を選択する

送信機の SEL ボタンを押すと、現在接続中の受信機が一覧で表示されます。マルチセレクターで受信機を選ぶと、選んだ1台だけを操作できます。

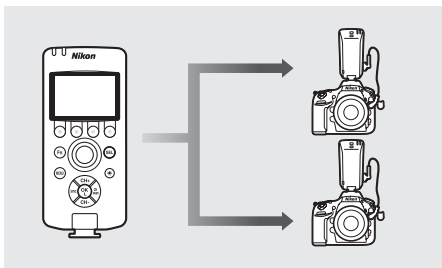
応用的な使い方

WR-1 を受信機として複数のカメラに取り付けると、次のような使い方ができます。

- 撮影の前に、全ての WR-1 のチャンネル設定、ペアリング、グループの設定を行ってください (□8、9、10)。

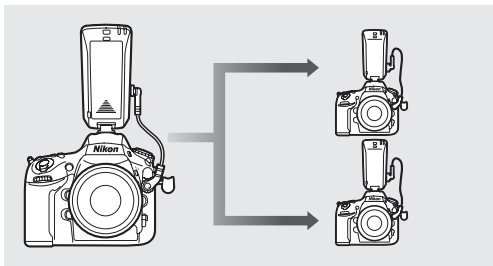
複数のカメラのシャッターをきる (同時リリース)

受信機を複数のカメラに取り付けて、送信機のシャッターボタンを全押しすることで、受信機を装着した複数のカメラのシャッターを同時にきることができます。



マスターカメラとリモートカメラのシャッターを連動させる (連動リリース)

WR-1 を 10 ピンターミナル装備のカメラに取り付けて送信機に設定することで、そのカメラはマスターカメラとして動作します。マスターカメラのシャッターボタン全押しに連動させてリモートカメラのシャッターをきることができます。



連動リリースは、次の手順で行ってください。

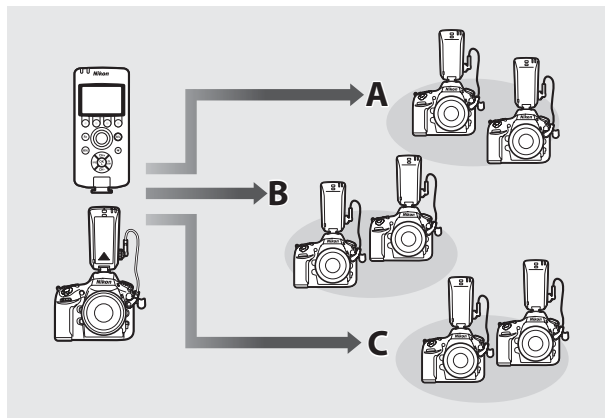
- 1 マスターカメラ (10 ピンターミナル装備のカメラ) に WR-1 を取り付けて [Tx] (送信機) に設定し、リモートカメラ全てに WR-1 を取り付けて [Rx] (受信機) に設定する
- 2 全ての機器のチャンネル設定、ペアリング、グループの設定を行う (☞8、9、10)
- 3 送信機のマルチセクターの ◀ を押して、表示パネルに **SYNC** を表示させる
 - 連動リリースモードがオンになります。



- 4 マスターカメラのシャッターボタンを全押しして撮影します。

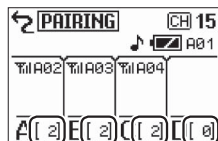
グループを使い分ける

複数の受信機を使う場合、受信機に異なるグループを設定してから、送信機のグループ選択ボタン (A、B、C、D) でグループを切り換えることで、同じグループの受信機を装着したカメラのみでシャッターをきることができます。



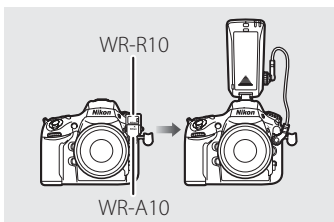
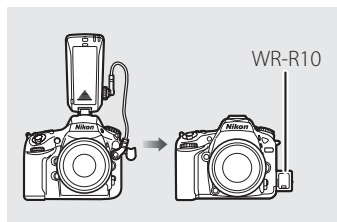
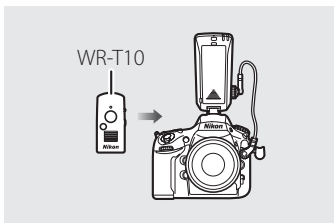
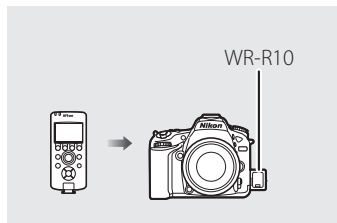
送信機でグループの台数を確認する

送信機でグループを設定すると、同じグループの受信機の台数が表示パネルに表示されます。



WR-R10/WR-T10 と使う

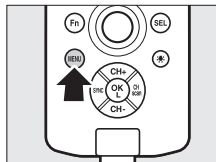
WR-1 は、別売のワイヤレスリモートコントローラー WR-R10 や WR-T10 と一緒に使うことができます。





- WR-R10 または WR-T10 を使う場合、WR-1 を WR-R10 または WR-T10 とペアリングしてください。
- WR-1 側は □9 の「ステップ 3：送信機と受信機をペアリングして接続する」と同様の手順でペアリングしてください。ID モードでの接続 (□23) は行えません。
- WR-R10 と WR-T10 側のペアリング方法については、WR-R10/WR-T10 の使用説明書をご覧ください。
- WR-R10 を使う場合、WR-1 のグループを「A」に設定してください。
- WR-T10 は、全グループの受信機を操作します。グループを使い分けることはできません。
- WR-1 は、WR-R10 または WR-T10 と同じチャンネルに設定してください (5ch、10ch、15ch のいずれかに設定できます)。

メニューの使い方

MENU ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。メニュー項目は、次の通りです。



メニュー項目	内容
LINK MODE	リンクモードを [ID] (ID モード) と [PAIRING] (ペアリングモード) から選べます。
BODY NO.	ボディ No. (#01 ~ #20) を設定できます (□23)。設定したボディ No. は、シリアル No. の下 3 桁の代わりに表示パネルに表示されます。
ID-NAME	ID モード時に使用する ID ネームを設定します (□23)。
PAIRING	<p>ペアリングモード時に、ペアリングを行ったり、ペアリング情報を削除することができます (□9、11)。[LIST] を選ぶと、ペアリングした機器のシリアル No. の下 3 桁が一覧で表示されます。</p> <p>項目を選んでマルチセクターの ▶ を押しと、選んだ項目の横に ✓ が表示されます。✓ を付けて ◀ を押して決定すると、下記の場合に電子音が鳴ります。電子音を鳴らさないようにするには、▶ を押して ✓ を外します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • BUTTON : ボタン操作するたびに 1 回電子音が鳴ります。 • RELEASE : SEL ボタンを押して 1 台だけをリリースするときに 1 回電子音が鳴ります (D600、D7100、D5200、D3200 接続時)。 • WARNING : エラーが起きたときに 2 回電子音が鳴ります (□27)。
LCD 	表示パネルのコントラストを 9 段階で調整して、読み取りやすくなります。
STBY 	WR-1 を送信機に設定している場合、電源を ON にしたまま何も操作しないで一定時間が過ぎると、電池の消耗を抑えるために表示パネルを消灯し、待機状態になります (□5)。待機状態になるまでの時間を、1 分、3 分、5 分、15 分、30 分から設定できます。

メニュー項目	内容
BATTERY	電池残量をより正確に表示できるように、使用している電池の種類を選びます。アルカリ単3形電池を使っているときは [LR6] を、ニッケル水素単3形充電電池を使っているときは [HR6] に設定してください。
SPECIAL	<ul style="list-style-type: none"> 送信機では、[INT] (インターバルタイマー撮影、□□18) または [RHT] (リリースホールドタイム、□□20) を設定できます。 受信機では、[RLY] (リレー (中継) 機能、□□21) または [DLV] (ディレー撮影、□□22) を設定できます。 [DISABLE] を選ぶと、SPECIAL メニューの機能の設定が無効になります。
VERSION	「ファームウェア」のバージョンを表示します。

メニューモードの操作方法

1 マルチセレクターの ▲ または ▼ で設定したい項目を選び、▶ を押す

- 選んだ項目の設定内容が一覧表示されます。

LINK MODE	[CH 15]
BODY NO.	[01/20]
ID-NAME	LIST
PAIRING	DELETE
	EXECUTE

2 ▲ または ▼ で設定したい項目を選び、**OK** を押す

- 選んだ内容が決定されます。

LINK MODE	[CH 15]
BODY NO.	[01/20]
ID-NAME	LIST
PAIRING	DELETE
	EXECUTE

SPECIAL メニュー

■ インターバルタイマー撮影

設定した撮影間隔（インターバル）と撮影回数で自動的に撮影するインターバルタイマー撮影を行えます。

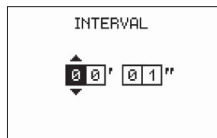
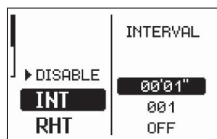
1 送信機の [SPECIAL] で [INT] を選ぶ

- 送信機の **MENU** ボタンを押して、メニュー画面を表示し、**[SPECIAL]** を選んでマルチセクターの **▶** を押します。
- [INT]** を選んで **▶** を押すと、右のような設定画面が表示されます。



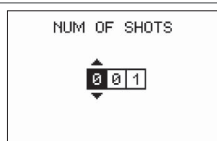
2 [INTERVAL] を設定する

- [INTERVAL]** を選んで **▶** を押すと、インターバル設定画面が表示されます。
- ◀ または ▶ を押して分、秒を選び、▲ または ▼ を押して撮影間隔を設定後、**OK** ボタンを押します。撮影間隔（インターバル）の最長設定可能時間は60分です。
- 実際のインターバルタイマー撮影には、インターバル時間の他、シャッタースピードやカメラが処理を行う時間などが含まれます。撮影間隔が十分な長さに設定されていない場合は、設定した撮影間隔で撮影できず、その回の撮影がキャンセルされることがあります。



3 [NUM OF SHOTS] を設定する



- [NUM OF SHOTS]** を選んで **▶** を押すと、撮影回数の設定画面が表示されます。
- ▲ または ▼ を押して撮影回数を設定後、**OK** ボタンを押します。



4 [START WITH RELEASE] を設定する

- [START WITH RELEASE] を選んで ▶ を押すと、即時スタートの設定画面が表示されます。



- すぐに撮影を開始したい場合は、[START WITH RELEASE] で [ON] を選んで  ボタンを押します。シャッターボタンを押すと、インターバルタイマー撮影を開始します。
- [OFF] を選んで  ボタンを押すと、シャッターボタンを押した後、設定したインターバルの時間が過ぎてから撮影を開始します。

☑ インターバルタイマー撮影時の制限について

インターバルタイマー撮影が設定されているときは、ペアリングできません。

☑ インターバルタイマー撮影を終了するには

インターバルタイマー撮影中に、[SPECIAL] で [DISABLE] を選ぶか、シャッターボタンを押すか、マルチセレクターの ◀ を押すか、WR-1 の電源を OFF にすると、インターバルタイマー撮影を終了します。

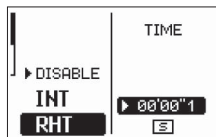
■ レリーズホールドタイム

レリーズホールドタイムには、[TIME] と [SINGLE SHOOT] があります。[TIME] では、シャッターボタンの全押し状態を維持する時間を設定することで、長時間露出撮影を行えます。[SINGLE SHOOT] では、カメラのレリーズモードが連続撮影でも、1コマ撮影を行えます。

- [TIME] を行う場合は、カメラのシャッタースピードをあらかじめ Bulb に設定してください。

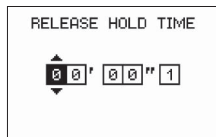
1 送信機の [SPECIAL] で [RHT] を選ぶ

- 送信機の MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示し、[SPECIAL] を選んでマルチセクターの ▶ を押します。
- [RHT] を選んで ▶ を押すと、右のような画面が表示されます。



2 [TIME] または [SINGLE SHOOT] を設定する

- [TIME] を選んで ▶ を押すと、シャッターボタンの全押し状態を維持する時間の設定画面が表示されます。
- ◀ または ▶ を押して分、秒を選び、▲ または ▼ を押して数値を設定後、OK ボタンを押します。レリーズホールドタイムの最長設定可能時間は 60 分です。
- [☒] を選んで、OK ボタンを押すと、カメラのレリーズモードが連続撮影になっていても、シャッターボタンを全押しするたびに、1コマずつ撮影を行います。



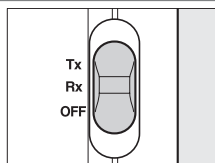
■ リレー（中継）機能

送信機と受信機の間にもう 1 台の WR-1 を配置することで、遮蔽物を迂回したり、通信距離を伸ばしたりできます。



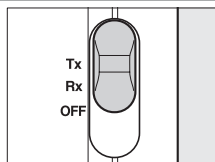
1 中継機を設定する

- 中継機に設定したい WR-1 の Tx/Rx/OFF 切り換えスイッチを [Rx] (受信機) に合わせます。
- MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示し、[SPECIAL] を選んで ▶ を押します。
- [RLY] を選んで OK ボタンを押すと、この WR-1 が中継機として機能します。



2 送信機と受信機を設定する

- 送信機または受信機に設定したい WR-1 の Tx/Rx/OFF 切り換えスイッチを [Tx] (送信機) または [Rx] (受信機) に合わせます。



3 リレー（中継）で撮影する

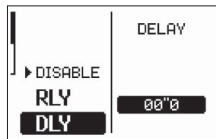
- 適切な場所に中継機と受信機を配置します。
- 送信機のシャッターボタンを押すと、中継機を介して、受信機を装着したカメラで撮影します。

■■ デイレー撮影

受信機で時間を設定して、シャッターをきるタイミングを遅らせることができます。たとえば複数の受信機を操作するときなど、受信機ごとにシャッターをきるタイミングを変えられます。

1 受信機の [SPECIAL] で [DLY] を選ぶ

- 受信機の **MENU** ボタンを押して、メニュー画面を表示し、[**SPECIAL**] を選んでマルチセレクターの **▶** を押します。
- [**DLY**] を選んで **▶** を押すと、右のような設定画面が表示されます。



2 [DELAY] を設定する

- [**DELAY**] を選んで **▶** を押すと、設定画面が表示されます。
- ◀ または **▶** を押して入力する桁を選んで、▲ または ▼ を押して時間を設定します。設定可能時間は 60.0 秒までです。
- OK** ボタンを押して決定します。



ID モードで接続する

ペアリング (☑9) を行う代わりに、接続したい全ての機器に同じ ID ネームを設定して、ID モードで接続することもできます。

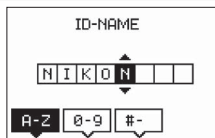
1 送信機と受信機の [LINK MODE] を [ID] に設定する

- MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
- [LINK MODE] で [ID] を選んで (OK) ボタンを押します。



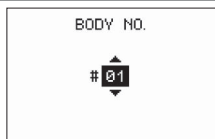
2 [ID-NAME] を設定する

- [ID-NAME] を選んで、マルチセクターの ▶ を押して ID ネームの設定画面を表示します。
- グループ選択ボタンで文字の種類を切り換えます (A ボタンを押すと A～Z、B ボタンを押すと 0～9、C ボタンを押すと記号を選べます)。
- ◀ または ▶ でカーソル位置を移動し、▲ または ▼ で入力する文字を選びます。
- ID ネームは 8 文字まで入力できます。
- 設定が終わったら (OK) ボタンを押します。



3 [BODY NO.] を設定する

- ボディー No. は、同じ ID ネームの受信機を区別するためのものです。同じ ID ネームで同じボディー No. は使えません。
- [BODY NO.] を選んで、▶ を押して、ボディー No. の設定画面を表示します。
- ボディー No. を [01] ～ [20] から選び、(OK) ボタンを押します。



☑ ID ネームを使った接続について

ID ネームを使った接続ができるのは、全ての機器が WR-1 の場合のみです。ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10、WR-T10 をお使いの場合 (☑15) は、ペアリングモードで接続してください (☑9)。

☑ ボディー No. について

ペアリングモードで接続するときも、ボディー No. を設定すると管理しやすくなります。

カメラ設定の確認と変更 (D7100 の場合のみ)

接続中のカメラが D7100 の場合、送信機の表示パネルでカメラの設定を確認したり、変更することができます。

1 接続中の機器の一覧を表示する

- 送信機で **SEL** ボタンを押すと、接続中の機器が一覧表示されます。



A02	Til	A	- - -	▶
A03	Til	A	- - -	▶
A04	Til	- B - -		
A05	Til	- B - -		
A06	Til	- - C -		
A07	Til	- - C -		
A08	Til	- - - D		

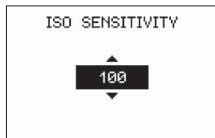
2 カメラの設定情報を表示する

- 右側に **▶** が表示されている機器を選んでマルチセレクターの **▶** を押すと、カメラの設定情報の画面が表示されます。
- ▲** または **▼** を押すと、画面をスクロールします。

A02	REM 01.0k (000)	FFFFF
MODE	M	
TV	1/125	▶
AV	F5.6	▶
ISO	100	▶

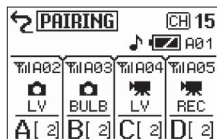
3 カメラの設定を変更する

- 右側に **▶** が表示されている項目を選んで **▶** を押すと、選んだ項目の設定画面が表示されます。
- 設定を変えて **OK** ボタンを押すと、変更内容がカメラに反映されます。




送信機で受信機の情報を確認する (D7100 のみ)

- 受信機に接続中のカメラが D7100 の場合、送信機の表示パネルには、次のような情報が表示されます。




- : 送信機のシャッターボタンを押すと、静止画を撮影します。
 - : 送信機のシャッターボタンを全押しすると動画撮影を開始し、もう一度シャッターボタンを全押しすると動画撮影を終了します。動画記録中には **REC** が点滅します。
 - **LV**: ライブビューで撮影します。
 - **BULB**: カメラのシャッタースピードの設定が Bulb (バルブ) になっています。送信機のシャッターボタンを押している間、シャッターが開いたままとなるバルブ (長時間露出) 撮影ができます。
 - **TIME**: カメラのシャッタースピードの設定が Time (タイム) になっています。送信機のシャッターボタン全押しでシャッターを開き、もう一度シャッターボタンを全押しするとシャッターを閉じます。
- 同じグループに複数の受信機が設定されている場合、グループ選択ボタン (A、B、C、D) を押しながらマルチセレクターの ▲ または ▼ を押して、表示する受信機を切り換えられます。

トラブルシューティング

こんなときは	対処方法	□□
WR-1 の電源が入らない 表示パネルに何も表示されない	<ul style="list-style-type: none">WR-1 をカメラに取り付けずに使用する 場合、電池が正しい向きで入っている ことを確認してください。それでも電 源が入らない場合は、十分に残量のある 電池に交換してください。WR-1 をカメラに取り付けて使用する 場合、カメラに正しく接続されている ことを確認してください。カメラの電 源が OFF になっているときは、カメ ラの電源を ON にしてください。	4 6
シャッターボタンを押しても 撮影できない	<ul style="list-style-type: none">撮影する前に、同じチャンネルとグ ループに設定されていることを確認し てください。メニューの [LINK MODE] が [PAIRING] の場合は、[LIST] を選ん で  ボタンを押すと、ペアリングし た機器を確認できます。撮影したい機 器が表示されていない場合は、もう一 度ペアリングを行ってください。メニューの [LINK MODE] が [ID] の場合は、同じ ID ネームが設定され ていることを確認してください。受信機とカメラがケーブルで正しく接 続されていることを確認してください。リリースできない状態です。カメラを 確認してください。	8、10 16 23 6 —
[NOT DETECTED] と表示さ れる	接続中の機器がありません。	—
[NO RESPONSE] と表示される	<ul style="list-style-type: none">機器間が離れていませんか？ 機器を 近づけてもう一度ペアリングを行って ください。ペアリングを行う前に、同じチャンネル が設定されていることを確認してく ださい。	9 8

こんなときは	対処方法	□□
[#00 IS DUPLICATED] と表示される	すでに、同じ ID ネームで同じボディ No. の受信機がある場合、接続できません。別のボディ No. を選んでください。	23
電子音が 2 回鳴る	<ul style="list-style-type: none"> • リリースできない状態です。カメラを確認してください。 • ボディ No. が重複している受信機がないかを確認してください。 	—

☑使用上のご注意

- カメラの誤作動を防止するため、WR-1 の取り付けは確実に行ってください。
- カメラのリリースモードがリモコンモード (ML-L3) の場合、カメラ本体と WR-1 のシャッターボタンは動作しません (D7100 を除く)。リモコンモード以外のリリースモードを選んでください。
- WR-1 をお使いにならない場合は、WR-1 をカメラから取り外してください。WR-1 を装着したままカメラをバッグに入れたりストラップで吊るしたりして持ち運んでいるときに、強い衝撃や振動が加わると、カメラや WR-1 が破損することがあります。
- WR-1 は D1 シリーズ、および MB-D100 では使用できません。
- F100 をお使いの場合、給送モードがセルフタイマーのときにシャッターをきることはできません。
- D2X、D2Xs、D2Hs、D200 をお使いの場合、WR-1 の装着時に、半押しタイマーがオフになった後で、半押しタイマーが作動すると、表示パネルに  マークが一時的に表示されます。

主な仕様

■ ワイヤレスリモートコントローラー WR-1

型式	WR-1
対応カメラ	10ピンターミナルまたはアクセサリターミナルを装備した一眼レフカメラ
無線関連	
無線チャンネル数	1ch (2.405GHz)、2ch (2.410GHz)、3ch (2.415GHz)、4ch (2.420GHz)、5ch (2.425GHz)、6ch (2.430GHz)、7ch (2.435GHz)、8ch (2.440GHz)、9ch (2.445GHz)、10ch (2.450GHz)、11ch (2.455GHz)、12ch (2.460GHz)、13ch (2.465GHz)、14ch (2.470GHz)、15ch (2.475GHz)
通信距離 (見通し)	WR-1 間で約 120m (地上高約 1.2m の場合) 通信距離は遮蔽物や天候などにより短くなることがあります。
接続可能機器数	送信機、受信機あわせて最大 20 台 (送信機は最大 3 台接続可能)
電源	
単体使用時	アルカリ単 3 形電池またはニッケル水素単 3 形充電電池 (2 本使用)
カメラ接続時	カメラから電源供給
消費電力	最大 約 1W
動作環境	温度：-20℃～+50℃ 湿度：85%以下 (結露しないこと)
外形寸法 (W×H×D)	約 50×115×27.5mm
質量	約 90g (本体のみ)



A series of 20 horizontal lines for writing, starting from the line where the pen nib is positioned and extending downwards.

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OS のバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX 番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

- ニコンサービス機関（裏面に記載の「修理センター」など）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。
- ニコンサービス機関につきましては、詳しくは「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
※ 内蔵メモリーがあるカメラでは、内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後 5 年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。



0570-02-8000

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、(03)5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。



0120-02-8155

営業時間：9:00～18:00(年末年始12/29～1/4を除く毎日)

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<(株)ニコンイメージングジャパン 修理センター>

230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26



0570-02-8200

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング/サポートページ>

●<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。

※製品をより有効にご利用いただくために、定期的アクセスされるようおすすめします。

●<http://www.nikon-image.com/support/repair/>

「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積りも金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**

Printed in Japan

SB3B02(10)

6MBJ0810-02

© 2013 Nikon Corporation